



(7月17日、白坂観音大祭)

先人から 受け継ぐ(9) の 野 口 鹿 踊り

野口鹿踊は、江戸時代に伝わり、宮古市山口黒森神社に伝わる神楽(重要無形民俗文化財・黒森神楽)に由来するといわれています。踊りや太鼓は敏捷闊達を特徴とし、昔からお祝いごとや神仏の供養と祈願の行事として知られています。

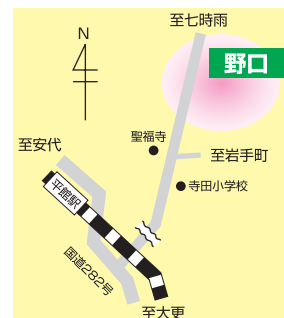
毎年7月17日に聖福寺で行われる白坂観音大祭で披露され、秘伝である七面観

音立像(市指定文化財)が観音堂から本堂に移るときに、観音持ちが野口鹿踊りの輪に入り、邪気から仏を守ります。

昔は男性たちで踊られていましたが、今は女性たちの手で継承されています。

◎保存会代表 佐々木きみゑさん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和56年3月25日(旧西根町指定)



■議会広報特別委員会

委員長 高橋 悦郎(前列中央)

副委員長 高橋喜代春(前列左)

委員 小野寺昭一(前列右)

古川 津好(後列中央)

渡辺 義光(後列左)

立花 安文(後列右)

あ と が き

4月25日に開かれた第2回臨時会で、新しい広報特別委員会の委員6人が選任されました。議会で決定したことや議員の活動などを「議会だより」を通して分かりやすく伝えていきますので、今後ともご愛読よろしく申し上げます。